

佐賀地本 ニュース



平和を、仕事にする。
陸海空自衛官募集

第1号 平成29年10月1日発行

発行所
自衛隊佐賀地方協力本部
募集課広報室
電話 0952-24-2291

この時代の“防人”を目指して



試験実施要領の説明を受ける受験者

佐賀地本は、9月16日（土）、県内5コ会場において、平成29年度第2回一般曹候補生第1次試験、第3回自衛官候補生（男子）及び第2回自衛官候補生（女子）の筆記試験を行いました。

当日は、台風18号の影響による降雨はあったものの、JR等の公共交通機関の運行に影響はなく、規定の時間において、厳正な試験管理の中、整齊円滑に試験を行うことができました。

一般曹候補生約150名及び自衛官候補生約150名の受験者は、緊張の中、長時間の試験にもかかわらず、最後まで、真剣に取り組んでいました。

佐賀地本は、引き続き平成29年度各種採用試験に全力で取り組みます。

「空」への夢の実現のために

佐賀地本は、9月8日（金）、目達原駐屯地で使用されていた観測ヘリコプター「OH-6D」を、航空科がある北陵高校へ、教材として無償貸付を行いました。

このヘリコプターは、規定の飛行時間に達したことから用途廃止となり、廃棄処分となる予定でしたが、学校側からの申し出により教材として活用することになったものです。

自衛隊による機体の運搬・設置の後、貸与式が行われました。式終了後には、早速実習で活用され、航空科の生徒からは、「これまで、解らなかった機体の構造が、良く解りました。」との感想のほか、熱心に機体を調べる姿が見られました。この機体を通じて、一人でも多くの若者が「空」への夢の実現をして貰えれば幸いです。



貸付記念証を手渡す江口副本部長（右）



熱心に機体を調べる生徒たち

佐賀地本伝統の茶がゆ会

佐賀地本は、9月29日（金）、県内の有識者の方々と恒例の「茶がゆ会」を行いました。

茶がゆ会は、質素節約を奨励した佐賀藩の茶がゆを起源とし、質素な茶がゆを食した後、輪番制による卓話を行い、各種の情報・意見交換を行うもので、昭和40年から継続して行っています。

佐賀地本は、この伝統ある茶がゆ会を継承し、有識者の方々への情報発信や相互理解に、引き続き努めて参ります。



九州補給処長（中央奥）による卓話



9月の茶がゆ

即応予備自衛官雇用企業を訪問

援護課は、8月29日（火）、即応予備自衛官雇用企業である、武雄市の松尾一建工業株式会社様を訪問し、社員であり、西部方面後方支援隊所属の即応予備自衛官の招集訓練参加状況等について説明を行いました。

始めに所属部隊の中隊長が即応予備自衛官招集訓練に関する説明を行い、国防における即応予備自衛官の重要性について、理解を深めました。



訓練参加状況等の説明を受ける松尾様（左上）



小山即応予備3曹（左から2人目）

援護マン紹介

佐賀地域援護センター援護班長兼目達原センター長の荒川准尉です。

私は、主に県東部地区（神埼市・吉野ヶ里町・三養基郡・鳥栖市）及び県中部地区（佐賀市・多良市・小城市）の企業様を担当し、担当地域における就職を希望する退職予定隊員に対して、再就職を支援する業務を行っています。

担当企業様を訪問した際には、快く対応して頂き、楽しく勤務しています。



企業訪問に向う荒川准尉

夢なき者に 成功なし

熱か風

九州・佐賀の地を踏んで早や半年が経ちました。その間、県民との架け橋となるべく、募集広報・就職援護業務等に携わり、また、協力者の皆さんと交流を深めてきました。

夏の暑さも和らいだ今は、まさに募集の最盛期、今年度前半に行った募集制度の周知や各種イベント等での広報の成果がはつきりと志願票という形で現れています。

募集環境は当然厳しいですが、部員独自でも変えられる行動の質と量によって真摯に取り組んでいます。

ところで、私の座右の銘は、幕末の志士、吉田松陰の言葉「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし、故に、夢なき者に成功なし」です。

佐賀県も幕末には、「肥」薩長土の雄藩の一藩として、多くの偉人達が活躍し、県民はその事に誇りを持っていきます。

そんな高い志をもつ佐賀県の若者が、国防という崇高な使命を果たす防人への道を一人でも多く目指して頂けるよう、部員とともに自衛隊の魅力を誠心誠意伝えて行きたいと思えます。



副本部長
防衛事務官 江口芳治

唐津 国防にかける「熱い思い」を発信

唐津出張所は、募集最盛期を迎え、8月～9月にかけて、地域ラジオ「FM唐津」に、陸・海・空の広報官が出演し、PR活動を行いました。

ラジオ出演のきっかけは、同放送局の代表取締役社長様が、西部方面隊オピニオンリーダーであり、防衛協会員でもある森田淳氏であつたからです。

森田氏は、防衛通でもあり、自衛隊に対する思いも深く、「一般の人は、仕事に命までは懸けない。」「自衛官は、命を懸けて職務を遂行する。」「そんな国を守る自衛隊に対する協力は全力をもってやりま

す。」との言葉を頂いたのが最初でした。

森田氏と出演した各広報官は、リスナーに国防についての崇高な使命を熱く語りかけ、採用試験の周知を行いました。



森田氏と自衛隊をPRする釘崎広報官(海)



森田氏と自衛隊をPRする麻生広報官(空)



ラジオ放送出演中の今泉広報官(陸)

武雄 中学生が自衛隊の職場を体験

武雄地域事務所は、9月に入り、担当の中学校(伊万里、有田、鹿島東部、国見、多良)5校の2年生27名の職場体験学習に同行しました。

各職場体験学習は、2～3日間の日程で、陸自目達原駐屯地、海自佐世保基地、空自背振山分屯基地において行われました。この内、目達原駐屯地では、自衛隊の概要説明を受けた後、心肺蘇生法、迷彩フェイス等



心肺蘇生法を体験



ポリウム満点の食事を楽しむ生徒たち

を体験し、隊員食堂で食事をしました。

参加した生徒からは、「短い時間でしたが、自衛隊のことがわかって良かった。」「食事がおいしかった。」「将来、自衛隊で頑張りたい。」「等の率直な感想を聞くことができました。

今後も、職場体験学習等の場を有効に活用して、生徒に自衛隊を身近な存在としてアピールしていきたいと思っています。

鳥栖 地元出身隊員が自衛隊をPR

鳥栖地域事務所は、9月25日(月)、三養基高等学校において1・2年生を対象とした募集制度説明会を行いました。

男子生徒10名、女子生徒4名の参加があり、生徒は、真剣な眼差しで、所長による募集制度の説明に聞き入っていました。

参加した男子生徒からは「自衛官の採用試験にはいろいろな種目があるんですね。」との声や、女子生徒からは「防衛医科大学校看護学科学生に興味を湧かしました。」との感想を頂きました。

所長とともに説明会に同行した地元出身で臨時勤務中の古賀海士長は、海上自衛隊の凛々しい制服姿に加え、イケメン?なので女子生徒にとっても人気でした。

今回の説明会が、来年の採用試験に繋がることを願いつつ、学校を後にしました。



説明に聞き入る生徒たち



高校時代の恩師と再会した古賀海士長(護衛艦「ちょうかい」勤務)

採用案内

募集種目	応募資格(学歴・年齢)	受付期間	1次試験日
自衛官候補生(男子)	18歳以上 27歳未満の方	年間を通じて 行っております。	受付時にお知らせします。
防衛大学校学生 一般(後期)	高卒(見込者を含む。) 21歳未満の方	30年1月20日 ～26日	30年2月17日
陸上自衛隊 高等工学校 生徒	推薦	11月1日 ～12月1日	30年1月6日～8日 ※いずれか1日を指定されます。
	一般	11月1日 ～30年1月9日	30年1月20日

守りたいものがある。
その気持ちがあれば。
あなたも、きっと。

守りたいものを、守れる人に。

陸海空自衛官募集

佐賀 新たな道を歩む候補生を応援

佐賀募集案内所は、9月7日(木)、航空自衛隊防府南基地において行われた第11期自衛官候補生入隊・入校式に同行しました。

式開始前には、着隊の日に見送ってくれた家族と再会し、安堵の表情を浮かべた候補生の姿が見られました。

厳粛な式が始まると、真新しい制服に身を包んだ候補生達は、気迫の込められた節度ある敬礼動作を行います。

佐賀募集案内所は、陰しなくも夢と希望に満ちた自衛官への新たな道を歩み始めた候補生とご家族を、これからも全力で応援して参ります。

後ろの席から見守っていた家族の方は、短期間で成長した我が子の姿に驚いていた様子でした。

式終了後には、祝賀会食が行われ、候補生達は、家族と和やかなひと時を過ごしました。



整然とした動作を行う候補生



祖母様とお母様との入隊記念

イベント案内

伊万里港開港50周年記念事業「伊万里みなと祭り2017」で、七ツ島地区会場において、掃海艇「うくしま」「とよしま」の一般公開が行われます。



掃海艇「うくしま」

時期：11月3日(祝)
4日(土)
場所：伊万里市黒川町
(七ツ島地区会場)
伊万里市山代町
(久原地区会場)

